

とよきたじむだより



安全な学校を作るために・・・夏休み中の取組

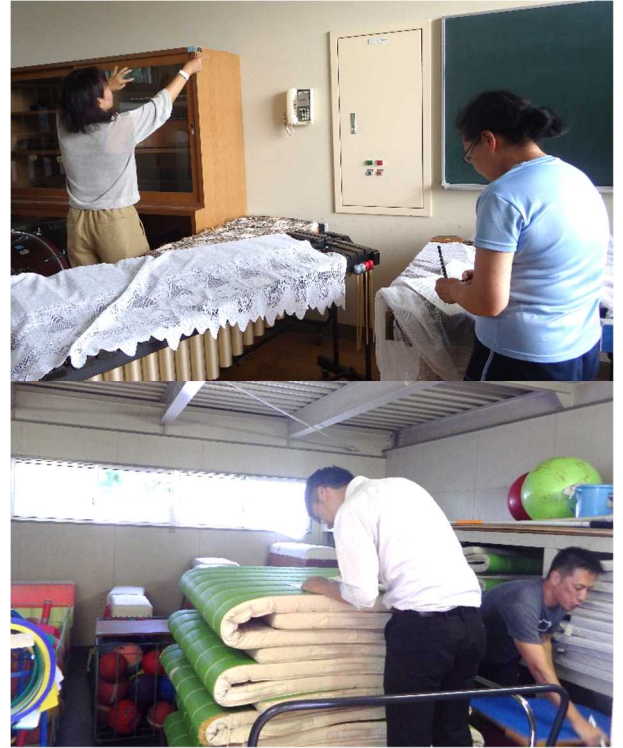


夏休みが終わり、学校にはいつもどおりの活気が戻ってきました。夏休み、学校では職員作業や多くの点検、工事を行いました。今号では、「安全な環境作り」という視点からその一部を御紹介します。

●備品整理

学校で使用するテレビ、運動用具、楽器等の教材は、一定の基準を設け「備品」とし、宇都宮市の財務システム内で管理されています。毎年夏休みに、職員で手分けをして教科ごとに備品を整理整頓し、古くなり学習指導要領に沿わなくなったものや、破損の恐れがあるもの等を廃棄します。

各教科の指導計画に沿った適切な教材を使用し、かつ安全な学習環境を整えるための重要な作業です。



●消防設備点検

消防法施行規則に定められた基準により、防災設備の専門業者による点検を年一回夏休みに実施しています。学校では「警備及び防火・防災計画」「危機管理マニュアル」を定め、災害や事件等の緊急事態に備えています。児童が参加する年3回の避難訓練も、この計画に基づいています。その他にも、職員による月一回の校内巡視(安全点検)などを行い、安全な環境作りに年間を通じて取り組んでいます。



あとがき～事務職員の机から・・・

学校の安全を守るための先生方の取組や設備を知ることで、児童も自分の安全を意識するきっかけにしてほしいと思います。適切な備品の購入、迅速な施設修繕や防災設備の管理など、財務の面から安全のサポートに努めていきます。



とよきたじむだより

とよきた夏休み日記～安全な学校づくり～



みなさんはどんな夏休みを過ごしましたか？学校では、夏休みの間にこんなことがあ

●備品整理

テレビ、とび箱、木琴や太鼓・・・皆さんが授業で使う色々なものを、「備品」といいます。毎年夏休みの間、先生たちで手分けをして学校にある備品の片づけや、古くなったものを捨てるお掃除をします。壊れていないか、皆さんが安全に使えるかをたしかめる大切な仕事です。



学校のどこにあるかな？なんのためのものだろう？さが探してみよう！

●消防設備点検

火事を知らせる装置や消火栓（消防設備）が壊れていないか、専門の人にたしかめてもらいます。地震や火事の避難訓練と同じように、いざという時に皆さんをを守るための仕事です。



安全な学校を作るための仕事や設備がたくさんありますね。皆さんも、「危ないな」と気付いたことがあったら教えてください！